

2015



石神井中だより

平成 27年7月 16日発行 7月号

- 明るく、健康な生徒
- 正しい判断力を持ち、主体的に
学び行動する生徒
- 豊かな情操を持ち、品位ある生徒

<http://www.shakuji-j.nerima-ky.ed.jp/>

避難訓練・防災訓練で危機管理能力を高める

副校長 松本 久

『お・は・し・も』 … 押さない・走らない・しゃべらない・戻らない

『いか・の・お・す・し』 … 行かない・乗らない・大声を出す・すぐ逃げる・知らせる

よく使う言葉。この言葉は、どんな時に使いますか？

これは、火事や地震の際に避難する時の合い言葉、犯罪に巻き込まれそうになった時に身を守るための合い言葉です。近年、生徒の皆さんを取り巻く環境は必ずしも安全とは言えません。そこで本校では、防災・防犯に関する意識を高めるとともに、日常生活の中で起こる危険を予測・判断して安全に行動できる生徒を目指して、計画的に避難訓練を実施しています。

ここ最近では、6月30日（火）の練馬区一斉防災訓練において、東京湾北部を震源とした地震を想定して避難訓練と地区班毎の集団下校を実施しました。また、小中の連携として、石神井小学校に弟妹のいる生徒は、小学校に移動して小学校での引き取り訓練に参加しました。

また、夏季休業中には8月29日（土）に石神井中学校の校庭で、池淵町会と石神井台東町会が主催する避難拠点訓練を計画しています。訓練の内容は、消火訓練やアルファ米炊き出し訓練などです。中学生の皆さんも積極的に参加して欲しいと思います。

夏季休業明けの9月1日（火）は、防災の日です。昨年のテレビ番組で、「東日本大震災の時、小学生が津波を予測して高台への避難を呼びかけ、地域の大人を救った。」と伝えていました。日頃からの避難訓練の大切さ、そして、的確に判断した小学生の素晴らしさを感じる内容でした。

二度と東日本大震災や関東大震災のような災害が起こらないことを願っていますが、いろいろな場面を想定し、「もしも…」の時に自分の身を守ることでできる生徒になって欲しいと思います。

尊い命を救い、被害を少しでも小さくするために大きな力となるのは、自分の身は自分で守ることと家族や地域で助け合うことです。普段できていないことを災害時に行うことはできません。日頃から、「自分でできること」「家族でできること」「ご近所と力を合わせてできること」などについて考え、災害に備えておくことが大切です。

保護者の皆様へ

ご家族で防災についての話し合いをお願いします。災害時、家族で力を合わせてできることは何か？家族がバラバラになってしまった時はどうするのか？もし子どもが一人の時に震災が起きたらどうするのか？など、ご家族での「防災会議」をお願いします。